

2017
October

10

ガバナー月信

VOL.4

Contents

ガバナーメッセージ	1
川瀬ガバナーエレクト事務所開所式	3
広報公共イメージ向上委員会	4
国際奉仕フォーラムのご報告	5
第1回地区ロータリー財団セミナー報告	6
米山記念奨学生親睦交流会報告	7
第6回全国インターアクト研究会報告	8
I・M報告 (2,4,5,7 分区)	9
新会員紹介・訃報	13
今月の予定	14
会員数及び出席報告	15
コーディネーターニュース	16
ハイライトよねやま	17
文庫通信	19

2017-18 Rotary International District 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2017-2018 年度

新保ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F

TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-MAIL k.shinbo@rid2560niigata.jp



「米山月間によせて 一米山梅吉翁 のこと」

2017-2018 年度 ガバナー
新保 清久(新潟万代RC)

私は、いまから7年前に地区の米山奨学委員長として東京で米山記念奨学会の研修を受けた際に米山梅吉氏が取り組んだ数々の慈善事業について教わりました。

そして翌年に米山奨学委員有志で静岡県長泉町の米山梅吉記念館を訪問して、あらためて米山梅吉が清廉の士であることを知りました。

米山記念奨学事業の意義や功績については、ロータリアンにとっては、十分ご理解していただいているものとして、この月信では、米山梅吉翁について述べさせていただきます。

略歴

明治元年2月4日 武士の和田竹造の3男として東京芝田村町に生誕

父竹造の死後母の実家の三島に移る。

明治16年(中学3年生)に政治家や文筆業、新聞記者を目指して東京へ(家出同然)

明治21年渡米 苦学の末8年かかり大学を卒業

明治28年帰国

明治29年米山春子さんと結婚

明治30年30歳で三井銀行に入行

大正9年(53歳)日本最初のロータリークラブを創設して会長に就任

大正13年に三井信託銀行を創立昭和9年まで社長

昭和6年長泉小学校建物と約1千冊の本を寄付・・・「米山文庫」と呼ばれる。

昭和9年三井各家が当時のお金で3千万円(今のお金で100億円以上)を寄付して、社会事業や文化事業に役立つための会、三井報恩会を作り理事長になる。

昭和12年財産をなげうって緑岡小学校を設立。校長となる。戦後青山学院初等部となる。

昭和13年貴族院議員に勅選される

活動内容の一端

- ・昭和9年以降三井報恩会の仕事に専念する。
- ・昭和15年から17年にかけて、青森から沖縄まで数ヶ所のらい病で入院している人々を1人1人にお土産を持って慰問。全国にベッドを3千増やす。
- ・がんの治療に必要なラジウムが足りないと聞き、ベルギーからその頃のお金で100万円を出して購入して癌の研究を助ける。
- ・国民病とも言われていた結核療養所や結核を治す薬の研究所をつくる。
- ・各地に済世会病院を増やし、精神病院を作り、病気の予防や治療、その研究を助けた。
- ・国民健康保険制度の実施に協力した。
- ・三井報恩会は貧しかった東北の農村が発展するように多くのお金を出して助けた。

例えば、東北地方の実情を見て回り、我が国の羊毛の資源を増やすためにニュージーランドから羊を5千頭以上輸入して、農村を助け、良い品質のものを作り出すために力を尽くした。

その他、学問の研究や実験のためにお金を出して協力、援助したものは、数えきれないそうです。

梅吉氏の三男は、次のように述べています。「父は若いころにアメリカで苦学して、アメリカの教育の『いかに他人を楽しませるか』ということをも身につけて帰ってきました。そうした父は、普段から『他人の楽しむのを見ているほど幸せなことではない』という人生の考え方を持っていました。だから奉仕の精神に支えられていたロータリークラブの活動に心惹かれて、ロータリークラブを日本に紹介したのも決して偶然ではありません。おそらく父が、自分の財産を投げ出して青山学院に緑岡小学校と緑岡幼稚園を作ったのは、こうした考え方を幼いころから教えられた日本人を作り、よりよい明るい民主社会にしようとしたからでしょう。

父が他人につとめるときは、文字通り真心込めてしたので、自分でも楽しかったのです。だから父はそうすることによって報酬を求めるような気持ちは少しもありませんでした。父は心からお互いに幸せであることだけを願っていました。」 (米山梅吉翁物語より抜粋)

米山梅吉の生き様、偉業に対し、まさに尊敬と感動しか言葉がありません。

米山記念奨学事業は、1952年にスタートして1967年に「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立されて今年で50年が経過しました。

2万人を超える奨学生を支援して来ましたが、これからも世界中で着実に国際理解が進んでいくものと期待しています。

2017-18 年度国際ロータリー第 2560 地区 地区大会



【国際ロータリー会長代理】
2017-18 年度 国際ロータリー理事エレクト
三木 明 様 (姫路 RC)



【地区指導者育成セミナー講師】 ロータリー財団講演
公益財団法人ロータリー日本財団理事
江崎 柳節 様 (小牧 RC)



【地区指導者育成セミナー講師】 ロータリー米山記念奨学会講演
東京米山友愛ロータリークラブ特別代表
関 博子 様 (東京米山友愛 RC)



「川瀬ガバナーエレクト事務所開所式」

地区幹事

関川 博 (三条RC)

「突如、東京タワーに上げられたような気持ちだったが、次には富士山のでっぺんに登れと。気が付いたら、ガバナーエレクトになり GETS に参加。 今度は、RI の役員方々と富士山のでっぺんに。そして、宇宙のような世界を垣間見た思いで、今日ここにおります。」

9月9日(土曜日)川瀬ガバナーエレクト事務所開所式を執り行うことができました。川瀬ガバナーエレクトの第一声は、昨年7月から今までをこのように語られました。三条ロータリークラブ会長として就任した直後、中條パストガバナーより突然のガバナーノミニー依頼。現役会長で

は資格を満足しないところ、中條パストガバナーはじめご参会のパストガバナーみなさまの熱意が集結し、田中ガバナーがRI会長から「資格免除」という異例の計らいを受け川瀬ガバナーノミニー



の誕生に繋がったことを再確認するものでした。続いて、本年度のガバナー新保清久様、直前ガバナーの田中政春様、パストガバナー渡辺敏彦様、パストガバナー石本隆太郎様から心温まる応援のご祝辞を頂戴し、みなさまからのエールを受けパストガバナー中條耕二様より、三条ロータリークラブから30年ぶりにガバナーを輩出され、今日は夢のような日。三条ロータリークラブは第四分区の親クラブなので盤石の体制で応援したい。との、お言葉をいただき閉式となりました。

祝宴では、三条芸妓衆による祝舞が花を添え、パストガバナー馬場信彦様の乾杯で和やかに開宴。皆様より応援のお言葉に川瀬ガバナーエレクトはじめ参会したガバナースタッフは励まされ、始動のスイッチが入りました。特に、経験の浅い私に対しては、パストガバナー中條耕二様、地区幹事丹治芳子様が私に成り替わり、パストガバナーの皆様へ協力をお願いをしていただいたことは、嬉しい反面重責を噛みしめる一幕となりました。川瀬年度は地区事務所固定の初年という大役を仰せつかりました。ガバナー輩出に困難を極めている原因の一つに単年度で移動するガバナー事務所設立という難しさが原因と考えられています。地区事務所を固定することで、ガバナー事務所の作業軽減を図りガバナー輩出を容易にするという取り組みです。明確なルールは敷かれておりません。悪路か高速道路かも見えないやみ夜の船出ですので、みなさまのご協力無くして明日はありません。次のガバナーへ気持ちよくバトンタッチできるお手本となれるよう、尽力尽くす所存です。

パストガバナー鈴木重彦様の中締め、力強い万歳三唱はまさに、川瀬年度スタートです。ガバナー新保清久様、直前ガバナー田中政春様、パストガバナー渡辺敏彦様から頂戴したお花で会場は華やかでした。パストガバナー佐々木昌敏様から事務所へ観葉植物とご祝儀ありがとうございます。最後に、当日は別件と重なる中、駆けつけていただいた皆様、開所式後に別の会場へ移動された皆様、ご多用の中お越しいただきたくさんの励ましとお祝いをありがとうございます。川瀬ガバナーエレクトを支え、みなさまのご期待にお応えできるよう力の限り走り抜きます。



「広報公共イメージ向上委員会」

クラブ奉仕委員会副委員長
安藤 幸夫（新潟東RC）

「ロータリーって何？」と聞かれたらあなたは何て答えますか！
これまでのロータリーはその存在と、どうやって世界に貢献してきたかを人びとに理解してもらうことに、いつも苦勞してきました。（イン H. I ライズリー 2017-2018RI 会長）

RI 会長のこのメッセージを受けて、2560 地区新保ガバナーは早速「広報、公共イメージ向上委員会」を立ち上げました。BSN 竹石会長を委員長に以下のロータリアンが名を連ねました。まさに新潟のメディアのオールスターキャストであります。

※2017-2018 年度広報・公共イメージ向上委員会

委員長	竹石 松次	(株)新潟放送	新潟 RC
	小田 敏三	新潟日报社	新潟南 RC
	矢野 達史	日本放送協会新潟放送局	新潟 RC
	川下 総一	(株)新潟総合テレビ	新潟 RC
	務台 昭彦	(株)テレビ新潟放送網	新潟 RC
	玉 知夫	(株)新潟テレビ 21	新潟 RC

(運営は地区クラブ奉仕委員会)

2017 年 8 月 22 日、第一回の同委員会がホテルオークラ桃果林で開催され、冒頭新保ガバナーの主旨説明と各メディアへの協力要請の後、活発な話し合いが持たれました。

ロータリーの広報は本来どうあるべきかのそもそも論から、具体的な記事の取り上げかたの方法論まで、予定の三時間があっという間に過ぎてしまうほど盛り上った委員会になりました。

今後の記事、報道の中身としてすでに地区行事として計画されている植樹事業に加え、56RC に奉仕計画を提出してもらいその中からいくつかを選んでメディア各社さんをお願いをしていくことにまともりました。

委員会メンバーの方々からは、同じロータリアンとして新保ガバナーの思いと同じであり、いろいろ制約条件はあるが、できるだけ協力をしていきたい。とのコメントを頂きました。

必要以上の広報広告は控えるとして、ロータリーが長年に渡り活動を続けてきたポリオプラス、米山奨学事業などをはじめとする多くの奉仕の功績は広く世界の人びとに等身大で正しく理解してもらうべきだと感じました。

これからのロータリーはこれらの広報をより積極的に行ない、広く多くの人びとに理解してもらうことにより、会員増強につなげることは大切なことなのではないでしょうか。



「国際奉仕フォーラムのご報告」

国際奉仕委員会委員長

長谷川 厚史 (新潟南RC)

8月26日(土)国際奉仕委員会、青少年交換委員会の共催で2017-2018年度国際奉仕フォーラムをホテルオークラ新潟で開催いたしました。新保清久ガバナーのご挨拶で始まり、川瀬康裕ガバナーエレクト、田中政春直前ガバナーはじめ各クラブの会長、国際奉仕委員長、青少年交換委員長あわせて102名の参加で行われました。

フォーラムの第1部では、

- 各クラブから回答をいただいた以下のアンケート結果を発表しました。
 - 海外姉妹友好クラブ締結の意向について (条件を整えば検討するが7クラブ)
 - グローバル補助金プロジェクトの計画について (既に予定しているが4クラブ、プロジェクトに参加したいが3クラブ)
 - 計画中のグローバル補助金プロジェクトを3例紹介し、そのプロジェクトに参加する意向について (プロジェクトの内容を詳しく聞きたいが8クラブ)
- 地区内の現在進行中のグローバル補助金を使った国際奉仕活動について、以下の皆様より発表いただきました。

新潟田RC (五月女敬博様)
タイの病院に人工透析器等を寄贈する (予算 55,300 ドル)

新潟RC (樋熊紀雄様)
ミャンマーの病院に胎児モニタリング用の超音波診断機等を寄贈する (予算 41,500 ドル)

新潟南RC (本間長市様)
台湾の貧困な地域の中学校に塗装技術の職業訓練施設を建設する (予算 54,000 ドル)

新潟中央RC (高尾茂典様)
タイの農村部の病院に血液透析機等を寄贈する (予算 132,263 ドル)

また、新潟南・新潟中央のプロジェクトについて、援助国協同協力クラブを募集しました。
- 質疑応答では、参加を検討しているプロジェクトについての質疑が行われました。

第2部では、青少年交換委員会から、青少年交換プログラムの概要を本間啓介委員長より説明があり、以下の青少年交換学生の帰国報告と受入学生の自己紹介が行われました。

室賀雄介(台湾)白根RC、池田海里(USA)糸魚川中央RC、永野蛍(ドイツ)糸魚川RC、市川虹海(ドイツ)高田東RC、野口葉月(ドイツ)豊栄RC、Jonathon Muller(カナダ)、Alessia Neuner(ドイツ)、Woo Hyung Wook(韓国)

また、三牧好起副委員長より青少年交換学生募集の案内があり、最後に、川瀬康裕ガバナーエレクトより講評をいただき、無事フォーラムを終えることができました。

田中政春直前ガバナーの乾杯から始まった懇親会では、活発な意見交換と親睦を深めました。

このフォーラムが、今後の各クラブの国際奉仕活動の参考になれば幸いです。ご多忙の折、ご参加いただきました皆様には大変感謝申し上げます。





「第一回地区ロータリー財団セミナー報告」

ロータリー財団委員会委員長
佐々木 昌敏 (小千谷RC)

8月27日(日)にホテルオークラ新潟にて「第一回地区ロータリー財団セミナー」が行なわれました。

当日は、100名を超える、今年度会長および幹事、各クラブのロータリー財団委員長が参加され大変白熱した、セミナーでした。

行われたセミナーの内容は以下の通り

○表彰

- ① 地区補助金支給承認通知書授与
- ② 年次基金・総計・上位5クラブ(2016-2017年度)
- ③ 年次基金・一人当たり・上位5クラブ(2016-2017年度)
- ④ 大口寄付・メジャードナー(2016-2017年度)

○地区補助金・奉仕プロジェクト事業の説明の後に

長岡西RC, 村上RCより事例発表がなされました。

○地区補助金・地区奨学生事業の募集スケジュール説明の後

2名のロータリー財団奨学生より体験談発表をしていただきました。

○グローバル補助金事業説明の後、新発田RCより事例発表

がなされました。

○財団寄付目標及び寄付増進の試み

- ① 財団寄付目標達成への協力要請
- ② ロータリーカード作成への協力要請
- ③ ポリオプラス寄付目標への協力要請

最後に財団寄付増進事例発表を三条北RC, 高田RCより発表していただきまして大変参考になりました。

セミナーと終えて、本当にロータリー財団の事業の重要性、重大性を感じ、身の引き締まる思いで終える事ができた一日でした。





「米山記念奨学生親睦交流会報告」

米山記念奨学委員会 奨学生学友委員会委員長
吉村 鳳一（新潟西RC）

去る9月3日から4日にかけて米山記念奨学生親睦交流会が開催されました。当日は残暑も和らぎ、秋晴れの爽やかな気候の中、奨学生・カウンセラー・房（ファ

ン）学友会会長・詹（セン）前学友会会長・地区委員総勢51名の方に参加して頂きました。

このイベントは、奨学生とカウンセラーとの交流と絆を深める目的で毎年開催しております。加えて奨学生同士の横の繋がりを強化して卒業後も学友としてより積極的に活動をして貰う為に、2年前から一泊旅行として開催しております。



当日朝は、新潟駅南口から9時30分、北越後の村上市に向け出発しました。おしゃぎり会館では村



上市の祭りの文化や歴史を学び、サーモンハウスでは鮭の町村上の鮭文化を学び、伝統的な鮭料理も満喫しました。午後、豪農の館である渡辺邸の敷地3,000坪、500坪の大邸宅を見学しました。現地の方より丁寧な説明を受け、当時の富裕層の豪華な生活や文化に触れることが出来、大変有意義に過ごせました。奨学生からも「規模の大きさに驚いた」「庭園が素晴らしかった」「素晴らしい体験が出来た」等の感想を頂き、私達も開催して良かった、と「ほっと」しました。

バスの中で、恒例の「正しい温泉入浴の作法」を丸山副委員長の指導をして頂き、当日宿泊でお世話になる瀬波温泉「汐美荘」さんへ向かいました。

チェックインの後、良質な塩化物泉の温泉でゆっくりと体を癒やし、体調を整え、懇親会に臨みました。新保ガバナーの挨拶と宇尾野委員長の乾杯で始まり、奨学生からの心温まるスピーチやロータリアン交えてのカラオケ大会をする等、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。二次会は、各自の部屋で行い、奨学生同士の情報交換等、充実した夜を過ごしました。

二日目の朝は6時より、宿泊施設前の海岸清掃を行い、海岸美化に努めました。朝から奉仕活動を行い、二日酔いの体も、心身共にリフレッシュ出来ました。

改めて奉仕活動の大切さを認識しました。私達ロータリアンにとっても、奨学生と共に日本文化に触れる機会があり、日本を意識できた二日間で、



勉強になりました。

最後に、新保ガバナーをはじめご協力頂いたロータリアンの皆様、地区米山記念奨学委員会の皆様、深く感謝申し上げます。

今後とも米山記念奨学会にご理解とご協力をお願い申し上げます。





「第6回全国インターアクト研究会報告」

インターアクト委員会委員長
長谷川 寿一（新発田城南RC）

2017年8月19日栃木県宇都宮市内において国際ロータリー第2550地区をホストとして第6回全国インターアクト研究会が開催されました。

今大会のテーマ「未来へのリーダーシップ かがやけインターアクター」のもとインターアクトが楽しくボランティア活動に参加でき、リーダーシップの力と友情を育みながら将来を担い、於いては国際理解と世界平和を推進できるロータリアンとなる為には、何が重要であるかを見つめ直す研究会であったと思います。



基調講演では、第3470地区より陳 清輝(MYDAYS)ガバナーと黄 元碩(AKIRA)国際奉仕委員長より「インターアクターたちがつないだ架け橋」と題して今までの国際交流のお話をいただきました。

年次大会に参加されたインターアクトクラブからも台湾研修では国際交流及び共同奉仕 活動を通じ国際理解を深め台湾の文化や歴史を学ぶことができた。との多くの声が寄せられていました。

このことは、「奉仕を国際間の理解に貢献するため、世界親交をもって共に活動する機会を青年男女に与えることにある。」というインターアクトの目的が活かされている活動であると実感いたしました。しかしながらパネルディスカッションにおいてパネリスト達からは、インターアクトはどんな活動をしているのか。自分達で考え行動できるようになりたい。 教員間で情報を共有することも大切であるなどの意見が寄せられました。滝川中学校・高等学校顧問教諭の福山太一氏は、自らもインターアクトであったが、学生の時にはこのような情報は入ってこなかった。顧問になって初めて知ることも多くありました。

また、直前会長の山中香樹氏からはロータリーはもっと情報を伝えるべきであるし、もっとインターアクトとのコミュニケーションを持つべきで、そのことが国際理解にも繋がっていくのではと、貴重なご意見をいただきました。

言葉の壁を越え、異文化への理解を深め、広い視野に立って培われる教養と専門性を磨き、世界的な競争と共生が進む現代社会において「グローバルな人材」を育てていくことが、ロータリーの役目であり、インターアクトクラブの目標であると、今後も地域に根付いた活動を続けていかなければという思いで終えることができた研究会でした。



最後に、研究会開催にあたりご尽力されました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



第2分区IM報告

「クラブと地区の変革をめざそう」

第2分区ガバナー補佐

橋本 栄一郎（新潟北RC）

去る9月2日、第2分区のIMを万代シルバーホテルに於きまして、新潟北ロータリークラブをホストとして開催いたしました。

170名という大勢の方からご参加をいただきました。ありがとうございました。

講演には、『胃・友の会』幹事の古藤勝栄氏より、胃がん体験をご講演いただきました。がんだけでなく、他の病気とも闘いながら克服されたお話は、大変勉強になりました。がんになっても克服することができる、希望のあるお話でした。

アトラクションとしましては、古町芸妓の皆さんにおいでいただき、踊りと歌で大変盛り上がりしました。

IMの目的である会員の情報交換と親睦を深めることに大変貢献いただきました。

この度のIM開催にあたり、皆様のご協力のもと盛大に幕を閉じることができました。心より厚く御礼申し上げます。





第4分区IM報告

「ロータリーの明日を担う—新会員の声を聞く—」

第4分区ガバナー補佐代理
丸山 征夫（三条南RC）

第4分区ガバナー補佐
鈴木 武（三条南RC）

秋晴れの9月2日第4分区11クラブ184名のロータリアンが集合、三条
ジオ・ワールドVIPにて開催された。

来賓としてパストガバナーの中條耕二さん、馬場信彦さん、鈴木重彦さん
、及びガバナーエレクトの川瀬康裕さんよりご出席いただいた。

鈴木重彦PGの「ロータリーの明日を考える」と題した基調講演の後、選出された6名の新会員パ
ネリスト（三条RC・中条克俊、燕・藤崎慈人、分水・下村克実、吉田・大谷直文、三条北・松山浩
仁、三条南・長谷川直哉 敬称略）から「新会員の声を聞く」のテーマで、入会の契機、ロータリ
ーへの思い、不満や希望など色々と活発な発表があった。会費が少し高額なので30～40歳代の人に
入会を勧めるにも簡単ではない等の発表もあった。

鈴木PGによる講評後、次年度IM開催の分水クラブと次年度ガバナーの川瀬康裕さんを紹介。1
時半～4時45分の会合を終了、5時から懇親会に入る。食事と共に新潟市の“The Mandums”による
歌と踊りを楽しみ、6時半に閉会となった。





第5分区IM 報告

「新たなる一步を」

第5分区ガバナー補佐

品田 道雄 (柏崎東RC)

2017年9月9日(土) 柏崎市市民プラザにて、植木康之パストガバナー、鈴木重彦パストガバナー、田中政春パストガバナーをお招きし、第5分区内ロータリアン約150名参加のもと、51年目を迎え又、初めて女性会長：本田麗子会長を擁立した柏崎東クラブをホストとし、“新たなる一步を”をテーマにIMが開催されました。

全体会では今年度のR・Iと地区のテーマを確認し、新たな時代に向かって一步前進し変化を受け入れ挑戦し、成長し続ける事がアピールされました。講演会ではブルボンウォーターポロクラブ 柏崎の青柳勸GMを講師に“水球を通してのまちづくり”について、水球の本場、イタリアセリエA1での花形選手(青柳氏)を柏崎へ招聘した広川俊男(新潟産大前学長)の遺影への黙祷の後、2010年のブルボンKZの立ち上げから日本最大級の150人からなる水球クラブチームの育成、そして柏崎からリオ五輪へ4人の日本代表選手の送出国と、水球日本男子32年ぶりのオリンピック出場、さらに2020年東京五輪に向けてのビジョンを講演。全国大会やヨーロッパ強豪チーム、2020年以後のアジアチームの合宿や大会の誘致による地元経済への貢献などについて映像や図、グラフを使い講演いただきました。

第二部懇親会では、田村直敏IM副実行委員長による神楽舞や堀沢ファミリーによる三味線などのアトラクションを交え、盛会のうちに親交を深め、ロータリーソング「手に手つないで」の合唱にて閉会とさせていただきます。





第7分区IM報告

「第7分区IM開催にあたり」

第7分区ガバナー補佐

藤巻 賢策（糸魚川RC）

国際ロータリー第2560地区第七分区第24回 Intercity Meeting に分区内各ロータリークラブ会員の皆様ようこそ糸魚川へ起こし下さいました。心より歓迎申し上げます。

ご来賓として糸魚川市副市長織田義夫様、糸魚川市立ひすいの里総合学校校長 阿部幸一様はじめ多くの皆様方よりご臨席を賜り深く感謝申し上げます。パストガバナー東山昕也様からもご臨席頂き錦上添花を添えて頂きました。

さて、新保清久ガバナー年度の想いは先輩諸兄のお力で、脈々と培われたそれぞれのクラブが、現状を見直して『クラブと地区の変革をめざそう』であります。先ずクラブ基盤の強化即ち会員増強に努め、和やかな例会運営など穏やかで柔軟な対応で計画的に進みましょう。

本日は新潟県立海洋高校久保田郁夫校長先生より、シーフードカンパニー能水商店として、産・学・官連携で取り組み中の教育成果を拝聴することとしております。第24回IMテーマ『若者の力で地域が輝く』と題し、同校が展開する地元の資源を生かした起業家教育が、若者の地元定着を促進し地域振興にも繋がるものと思います。地域に貢献する人材育成は、新保ガバナーの想いと同じであり、それぞれの地域のなかで各クラブと地区の活動を進めるにあたり一助となれば幸いです。分区内ロータリアンの情報交換と親睦交流を深めて頂き有意義で実りの多いIMとなりますようお願い申し上げます。

開催当日9月16日は大型台風18号の接近により天候が大変心配されましたが、なんとか持ちこたえ、無事に開催する事が出来安堵しました。第七分区8クラブ会員324名、IM登録210名、当日参加155名のご出席を頂きました。お陰様で滞りなく第24回IMも盛会のうちに無事計画通りに全て終了致しました。分区各クラブの皆様、ホストホームクラブ皆様のお骨折りに心より感謝申し上げます。



新入会員 紹介 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
新発田	新里 邦洋	2017. 9. 4	吉田農事㈱	農業資材販売
新発田中央	庭山 奈津子	2017. 8. 2	㈱下越タクシー	タクシー
中条胎内	田村 和美	2017. 9. 1	延本建設㈱	総合建設業
新潟	小松 茂樹	2017. 8. 29	新潟信用金庫	信用金庫
新潟	武田 直己	2017. 8. 29	日本銀行新潟支店	中央銀行
新潟	津久井 勝之	2017. 9. 5	農林中央金庫	農林水産金融
新潟	梅津 雅之	2017. 9. 5	㈱BSNアイネット	情報処理サービス
新潟	坂本 信	2017. 9. 12	新潟大学	大学
新潟	金井 政則	2017. 9. 12	岡三にいがた証券(株)	証券業
新潟南	堀江 英年	2017. 8. 2	㈱テレビ新潟放送網	テレビ放送業
新潟南	酒井 一成	2017. 8. 23	岡三にいがた証券(株) 新潟支店	証券業
新潟南	米山 光紀	2017. 8. 23	㈱ヨネヤマ DF	広告企画制作
佐渡南	本間 寿正	2017. 9. 1	本間建設株式会社	道路舗装
新潟北	鈴木 卓也	2017. 9. 11	明治安田生命保険(相) 新潟駅前営業所	保険業
新潟中央	菊池 淳哉	2017. 8. 8	菊池淳哉法律事務所	商事弁護士
見附	円田 勝則	2017. 9. 7	丸勝建設㈱	建設工事
長岡	保坂成仁	2017. 8. 22	第四銀行長岡営業部	銀行
長岡	徳永信行	2017. 9. 12	岡三にいいがた証券(株)	証券業
柏崎	田邊 君男	2017. 8. 30	㈱アスカ	土木配管業
新井	渡邊 俊幸	2017. 9. 20	㈱日曹建設	建築
糸魚川	野口淳平	2017. 8. 1	日本生命保険(相)	生命保険
頸北	八木 崇博	2017. 7. 5	頸城酒造(株)	酒造業

訃報

津南RC 風巻 英樹 様
綿屋旅館 ロータリー財団委員長

ご逝去日：2017年9月2日

高田RC 加藤 良作 様
有限会社遊心堂 代表取締役会長

ご逝去日：2017年9月6日

心よりご冥福をお祈りいたします。

10月地区の予定 【経済と地域社会の発展月間・米山月間】

2017年10月		地区主要行事	会場
7	(土)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルイタリア軒
7	(土)	地球環境保全のための植樹事業(上越地区)	上越市板倉区国川
14~15	(土~日)	ライラ研修	ロイヤル胎内パークホテル
22	(日)	第3分区 IM (原G補佐・新津RC)	新潟薬科大学 新津駅東キャンパス
26	(木)	地球環境保全のための植樹事業(中越地区)	十日町市民スキー場跡地
28	(土)	新保年度 地区大会1日目 RI 会長代理歓迎晩餐会	ホテルオークラ新潟
29	(日)	新保年度 地区大会2日目	朱鷺メッセ

10月ガバナー公式訪問日程表

2017年10月				2017年10月			
		ガバナー公式訪問	分区			ガバナー公式訪問	分区
3	(火)	村松	3	16	(月)	柏崎東	5
4	(水)	新発田中央	1	18	(水)	頸北	7
5	(木)	巻	4	19	(木)	越後春日山	7
11	(水)	柏崎	5	24	(火)	直江津	7
12	(木)	白根	3	25	(水)	新井	7

国際ロータリー第2560地区 2017~2018年度

地区大会のご案内

ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

期間 | 2017年10月28日(土)~10月29日(日)

会場 | ホテルオークラ新潟
朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター



ロータリー
変化をもたらす



ホストクラブ 新潟万代ロータリークラブ
コ・ホストクラブ 新潟南ロータリークラブ・新潟西ロータリークラブ



記念
講演 10月29日(日) 12:45開演
朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

演題 | 安吾が教えてくれたこと

講師 | 藤沢 周氏 (ふじさわ しゅう)
法政大学経済学部教授/作家

〈プロフィール〉

1959年、新潟県生まれ。小説家。書評紙「図書新聞」編集者などを経て、1993年、「ソーンを左に曲がれ」(「死亡遊戯」と改題)でデビュー。1998年、「アエノスアイレス午前零時」で芥川賞を受賞。「箱崎ジャンクション」「波羅蜜」「武曲」「界」「武蔵無常」「サラバンド・サラバンド」「安吾のことば」など著書多数。法政大学経済学部教授を務め、「日本文学」「文章表現」「日本文化論」などを講じる。

お詫び：都合により、新会員座談会(後編)は次号に掲載させていただきます。



第2560地区 2017-18年度 8月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	8月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	85.08	364	376	37	12
新発田	3	91.90	93	96	0	3
村上	4	80.92	37	38	9	1
水原	4	77.24	27	28	0	1
中条	4	96.43	34	35	3	1
新発田城南	4	79.33	41	44	4	3
豊栄	4	87.50	26	26	3	0
新発田中央	4	83.14	45	46	5	1
中条胎内	3	89.52	33	35	7	2
村上岩船	2	79.70	28	28	6	0
第2分区(9クラブ)	／	85.74	441	454	21	13
新潟	4	90.61	86	89	0	3
新潟東	3	84.69	62	63	9	1
新潟南	4	85.64	99	105	2	6
佐渡	4	85.70	7	7	0	0
新潟西	4	74.19	41	41	1	0
佐渡南	4	97.32	41	41	4	0
新潟北	3	78.83	43	43	0	0
新潟中央	4	85.83	24	25	0	1
新潟万代	3	88.89	38	40	5	2
第3分区(6クラブ)	／	74.53	122	123	7	1
新津	4	70.84	18	18	0	0
村松	4	95.23	11	11	0	0
五泉	3	72.91	17	17	3	0
白根	4	85.71	37	37	2	0
新津中央	4	72.51	29	30	1	1
阿賀野川ライン	4	50.00	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	／	76.85	368	372	21	4
三条	4	83.19	57	60	0	3
燕	4	67.85	33	32	1	-1
加茂	4	79.31	29	29	4	0
三条南	3	92.06	48	48	2	0
分水	4	68.33	31	31	3	0
見附	4	74.00	20	20	1	0
吉田	3	85.85	33	33	2	0
三条北	4	81.93	64	65	2	1
巻	4	85.70	14	14	0	0
田上あじさい	4	56.20	7	8	1	1
三条東	4	70.97	32	32	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	8月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	84.34	314	325	22	11
長岡	3	85.86	39	43	1	4
柏崎	4	84.50	45	46	0	1
長岡東	3	88.40	66	70	4	4
柏崎東	3	87.58	50	51	4	1
栃尾	4	76.62	21	21	0	0
長岡西	3	88.27	57	58	5	1
柏崎中央	4	79.17	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)	／	81.79	154	156	11	2
十日町	4	94.84	34	34	3	0
小千谷	4	61.42	38	39	5	1
雪国魚沼	4	72.70	25	25	2	0
十日町北	3	94.44	23	24	0	1
津南	3	88.80	27	27	1	0
越後魚沼	4	78.56	7	7	0	0
第7分区(8クラブ)	／	83.41	320	321	27	1
高田	3	99.40	66	66	0	0
直江津	4	87.36	48	48	3	0
新井	4	82.14	29	29	3	0
糸魚川	4	71.79	42	42	3	0
高田東	3	70.18	38	38	3	0
糸魚川中央	3	82.35	34	34	0	0
頸北	4	91.10	14	15	1	1
越後春日山	3	82.99	49	49	14	0

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,083	人
8月末 会員数	2,127	人
女性会員数	146	人
純増減会員数	44	人
当月平均出席率	81.76	%



「コーディネーターニュース」が今年度も発刊されることに関係者の皆様に心よりの敬意と感謝を申し上げます。元よりロータリー活動は会員の皆様の熱意に因るところが基本であります。このコーディネーターニュースを通じて国際ロータリーの現状の最新ニュースが届けられることと思います。

私はこの7月より国際ロータリー理事を拝命しましたが、何分浅学非才でありますので、皆様方のご指導をお願いする次第です。国際ロータリー理事として、斎藤理事と共に、日本のロータリーが世界から乖離しないように努めるのが責務と考えております。ロータリーコーディネーター並びにコーディネーター補佐の皆様は、会員の皆様と国際ロータリーとの最前線の接点であると思います。このコーディネーターニュースをご活用されますことを祈念致します。

今、世界は全ての分野で「変革」がキーワードです。ロータリーも同様です。変わることを楽しむのが成熟といふのではないかと考えるようにしております。
国際ロータリー理事 石黒慶一

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に競争し、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別コースを薦める人びとを除き、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリー中ほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。



公共イメージと認知度の向上＝世間の方々に良いイメージで認められる

公共イメージと認知度の向上とは「世間の方々にロータリーを良い印象で知って頂く」事です。そして、世間の方々はロータリー（又はロータリアン）がどんな旨い事を言っても、云っている事よりもロータリアンの行動を見て判断します。

つまり、ロータリアンの日頃の行動が一番大切です。これは大変だ！常に見張られているのだろうか？そんな心配は無用です。第一、四六時中人の目を気にしなければならぬなんて、そんな緊張は持続できません。普通に行動すればよいのです。

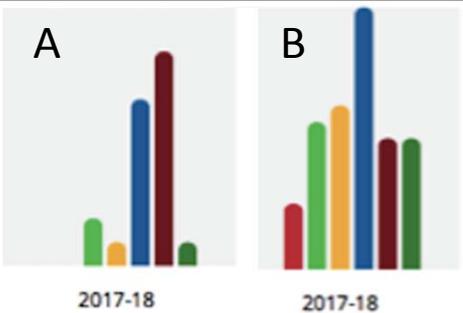
但し、次の事を忘れないでください。
「奉仕・親睦・多様性・高潔性・指導力」つまり中核的価値観と云われている5項目。「中核的価値観」とは難しい言葉ですネ。我々の「行動規範」と受け留めましょう。行動規範を念頭に置いて生き活きと輝いた行動をとりましょう。

又、日頃からロータリー活動だけに偏らないで、地域や広域の業界活動に参加しましょう。又、地域自治会や消防団、交通安全協会活動にも参加しましょう。これらの活動に参加すること自体が（地域社会）奉仕活動です。地域の奉仕活動には加わらないで、「私は日頃から奉仕活動を行っている。」と言っても、通用しないでしょう。

地域の経済活動、すなわち地元商工会や商工会議所活動、法人会や労働基準協会等にも、お誘いが有れば加わりましょう。お誘いが無いのにこちらから売り込むのはおかしいですが、お誘いが有ったら協力しましょう。

ロータリー活動に一所懸命になって居て、「私はロータリーが忙しいので、他の会の活動は出来ません。」等と云う事は間違っても言わない様にしましょう。

その様に心掛ければ、世間の方々のロータリー（ロータリアン）に対する評価は、必ずや上がる事でしょう。
第1ゾーン RPIC 鈴木秀憲



	2017-18	2017-18
● 29 歳以下	0	0
● 30-39	0	4
● 40-49	2	9
● 50-59	1	10
● 60-69	7	16
● 70 歳以上	9	8
● 未報告	1	8

クラブの後継者を育成しましょう

左のグラフは同じ都市のほぼ同じ時期に創立した2つのクラブをMy Rotaryのデータから年齢別会員数の比較をしたものです。当初の会員数は同じくらいで推移していましたが創立30年目位から少しずつ会員数に変化が見られるようになりました。

さて、このグラフからどんなことが連想されるでしょうか？5年後、10年後を想像してみましょう。

Aクラブの会員は大変仲が良く、クラブの運営には満足しているようです。

皆さんならAクラブにどんなアドバイスをされるでしょうか？

ヒントとしては「柔軟なクラブの運営」として例会スケジュールの変更、例会形式の多様化、出席要件の緩和、異なる会員種類の提供などがあります。

さらに、衛星クラブの導入により、現クラブとの差別化をしてハードル下げたクラブを提供することもできるでしょう。今月号で石黒慶一理事は『変わることを楽しむのが成熟といふのではないか』と述べております。「変える」勇気が必要ではないでしょうか？



ハイライトよねやま

Vol.210

学友・ロータリアンが大集合！ — 感謝 in 熊本 —

「世界米山学友による感謝 in 熊本」（主催：米山学友合同実行委員会）が8月26日、熊本市内ホテルで開催され、世界18の国・地域からの奨学生と学友196人、ロータリアン204人、その他家族などを含め総勢444人が参加しました。

このイベントは、学友によるロータリー米山記念奨学会財団設立50周年への祝賀に加え、今後、国内外の学友・学友会が横のつながりを持つためのプラットフォーム、「世界米山学友会」の発足を目的としたものです。

同日午前中には、有志80人が益城町立飯野小学校を訪問。当時の被災状況について校長先生の話に耳を傾け、義援金40万円を贈呈しました。

17時から第一部「世界米山学友会設立式典」が始まり、米山梅吉翁の生涯を描く朗読劇、全炳台さんから世界米山学友会の設立が宣言され、次回は2年後、モンゴルで開催することが発表されました。また、台湾・韓国の学友がそれぞれスピーチをしたあと、米山学友合同会から第2720地区ガバナー永田壮一氏へ熊本大地震の義援金

100万円が贈呈されました。

第二部の懇親会では、タイや韓国、また学友会・ロータリアンのコラボレーションによる民族舞踊と合唱が次々に披露され、会場は大盛り上がりでした。サプライズでくまモンが登場すると熱気は最高潮に達し、子どもから大人まで一緒に“くまモン体操”を踊りました。

会場では偶然の出会いや再会に驚き喜ぶ姿が多くみられました。最後の参加者全員での「手に手つないで」は、会場いっぱい広がっても足りないほどで、幾重にも折り返しながら、弾ける笑顔で手を握り、再会を誓い合って閉幕となりました。



米山学友が GETS で感謝のスピーチ

9月4日～5日に都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナー（GETS）の2日目午後・閉会本会議において、当会の小沢一彦理事長と岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況報告を行いました。続く「学友3名のスピーチ」のセッションでは、財団学友、ROTEX学友と共に、米山学友のジョルダヤコヴァ、サウレさん（2015-17/伊勢原RC）が登壇。「米山奨学生に選ばれて」と題してスピーチしました。

カザフスタンの国費留学生として来日し、米山奨学金のおかげで進学が叶ったというサウレさんは、ロータリーとの交流を通じてコミュニ

ケーション能力を高め、人脈を広げて、支え合える多くの友人を得ることができたと報告。博士課程で研究中の水素エネルギーを母国カザフスタ

ンで活用できるよう道を開くことが夢、と語りました。「私たち留学生を信じ、応援して下さるロータリーの皆さんに心から感謝します」と、カザフ語の「ありがとう」で締めくくったサウレさんに、会場から万雷の拍手が送られました。



寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べて6.3%増（普通寄付金：3.5%増、特別寄付金：11.9%増）となりました。今月は大口法人寄付をいただいたことにより、8月単月のみで1億円を超えました。これは2001年度以来16年ぶりです。皆さまのご支援に厚く御礼申し上げます。当財

団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付金には所得税・法人税の税制優遇を受けることができます。相続税も非課税となります。財団設立50周年の米山月間には、ますますのご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

さまざまな寄付のカタチ

当会第2550地区理事をおつとめいただいている飯村慎一氏から1千万円の法人寄付をいただきました。同氏は今年3月、地元の宇都宮大学へ1億1千万円を寄付し、経済的理由で修学困難な日本人学生への支援にあてたことで知られています。飯村氏からコメントをいただきました。

【飯村理事より】このたびは米山奨学会へ寄付の機会を与えていただき、ありがとうございました。国籍にかかわらず、次世代の人材を育て、平和の大使を育成することは私たちの責務だと思っています。米山梅吉翁の平和の精神が今ほど求められている時期はないのではないのでしょうか。近隣諸国の政情は不安定ですが、政治家にはできない事を、根気強く、民間の力で、少しでも実現していきたいと思っています。

理事会・評議員会報告 — 米山梅吉記念館で初開催 —

理事会（8月18日開催）および定時評議員会（9月8日開催）が以下の通り開催されました。

今回の理事会、評議員会は、財団設立50周年を記念して、初めて（公財）米山梅吉記念館（静岡県長泉町）で開催しました。各日の出席者は、それぞれ会議の前に、記念館近くの米山梅吉翁のお墓を訪れ、墓前で一人ひとり手を合わせました。



なお、理事会・評議員会とも、各議案はいずれも原案通り承認されました。

第十八回理事会 議長：小沢一彦理事長
出席者：理事23人 監事2人

【主な議題】評議員、理事後任候補者の件、2016年度事業報告および附属明細書承認、2016年度計算書類承認、財団設立50周年記念式典の件等

第八回評議員会 議長：市川緋佐磨評議員
出席者：評議員21人、常務理事・監事7人

【主な議題】2017年度評議員選任、2017年度理事選任、2016年度計算書類承認等

今年の米山月間資料は新作DVD入り！

10月はいよいよ米山月間。毎年9月下旬には、全クラブへ最新資料をお送りしています。今年の見玉は、財団設立50周年記念DVD「世界へ届け 米山の懸け橋」（15分）です。必ず例会でご視聴ください。そのほか、会員数分の最新版『豆辞典』、50周年記念誌・記念グッズ（ネクタイとスカーフ *数量限定）申込用紙、事業

報告書などが同封されています。ぜひご利用ください。



平成29年9月25日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 大塚信郎

拝啓

初秋の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。
このたびは、下記9点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。
なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文庫通信 (361号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー資料より

- ◎ 「米山先生と和田家の父母そして兄」 神崎正陳 米山梅吉記念館 2017 6p (館報Vol.30)
- ◎ 「ポール・ハリスはフリーメーソンだった」 塚原房樹 2016 2p (D.2510月信)
- ◎ 「ロータリーへの道 私達のポール・ハリス研究」 西宮夙川R.C. 1996 58p
- ◎ 「ロータリーの歴史年表(2017年8月改訂版)」 諏訪昭登 2017 10p
- ◎ 「ロータリー歴史探訪」 田中毅 [2004] 131p
- ◎ 「ロータリーの向かう所」 斎藤直美 2017 3p (D.2830地区大会記録誌)
- ◎ 「2つの奉仕理念と実践活動」 石井良昌 2017 7p (D.2670地区大会記録)
- ◎ 「ロータリーにはなぜ高潔性Integrityが必要？」 刀根荘兵衛 2017 3p (D.2650月信)
- ◎ 「ロータリーの心を学ぶ」 富田英壽 2017 3p (D.2700月信)

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日